

# AR 2300 取り扱い説明書

## 正誤表

2018年12月 株式会社エーオーアール

取り扱い説明書の記載内容と、実際のAR 2300の動作が異なる部分があります。お手数ですが、取り扱い説明書の以下の部分を読み替えてください。

【p 46～47 4. 7 2波同時受信／3波同時受信】

音量バランスの設定値の意味を変更しています。

### 4. 7. 4 「2バンド方式」2波同時受信の音量バランス

対応コマンド	VHnnn
説明	VHコマンドにより、メイン・バンドとサブ・バンド（HF帯）との音量バランスを設定します。引数nnnには000～255を設定します。128を設定するとメイン・バンドとサブ・バンドの両方の音が同じバランスで聞こえます。000を設定するとメイン・バンドだけが聞こえます。255を設定するとサブ・バンドだけが聞こえます。 引数を省略してVHとすると、現在の設定値を返します。

### 4. 7. 7 「オフセット方式」2波同時受信の音量バランス

対応コマンド	WVnnn
説明	WVコマンドにより、メイン周波数とオフセット周波数との音量バランスを設定します。引数nnnには000～255を設定します。128を設定するとメイン周波数とオフセット周波数の両方の音が同じバランスで聞こえます。000を設定するとメイン周波数だけが聞こえます。255を設定するとオフセット周波数だけが聞こえます。 引数を省略してWVとすると、現在の設定値を返します。

【p 53 8 CUE（キュー）に関するコマンド】

CUE機能自体を削除しました。従いまして、以下のコマンドはありません。

8. 1 録音開始／録音終了のQRコマンド
8. 2 録音内容の移動（ムーブ）のQMm、QMnmコマンド
8. 3 再生開始／再生終了のQYコマンド
8. 4 CUEの状態表示のQSコマンド

【p 55 10 データ・エディタ】

CUE機能の削除に伴い、データ・エディタのキューに関する処理も削除されました。取り扱い説明書p 55に記載されたDEコマンドの説明で、以下の処理番号はありません。

欠番となります。

n n	(削除された) 処理名	(削除された) 処理内容
2 0	キュー・データ移動	キュー・データ 0 を x へ移動する
2 8	キュー・データ削除	キュー・データ x を削除する
2 9	キュー・データ全削除	キュー・データをすべて削除する

## 【p 5 7～5 8 1 2 SDカード関連のコマンド】

SDカードに関する機能を大幅に追加しました。関連コマンドの説明は以下のようになります。なお、取り扱い説明書に記載されていた「**SD□C UW□ファイル名**」コマンドはなくなりました。

### 1 2. 1 SDカードの使用状況

対応コマンド	<b>SD□INF</b>
説明	このコマンドにより、SDカードの空き容量とSDカードの全容量が表示されます。 ファイル削除後は表示内容がおかしくなる場合がありますが、SDカードを一旦抜いてから再度挿入しなおすと、正しい空き容量を表示することができます。

### 1 2. 2 データ・ファイルの一覧表示

対応コマンド	<b>SD□DIR</b>
説明	このコマンドにより、ファイルの一覧を取得することができます。ファイル名のほかに、ファイル容量として録音時間およびファイルのバイト数を表示します。

### 1 2. 3 データ・ファイルの削除

対応コマンド	<b>SD□DEL□ファイル名</b>
説明	このコマンドにより、指定したファイルを削除することができます。ファイル名は、「8. 3 形式」で指定します。 なお、本当に削除して良いかどうかの確認はしません。

### 1 2. 4 SDカードのフォーマット

対応コマンド	<b>SD□FMT</b>
説明	このコマンドにより、SDカードをフォーマットします。SDカードの中のファイルは消えてしまいます。 なお、本当にフォーマットして良いかどうかの確認はしません。

## 12.5 録音のスケルチ・スキップ

対応コマンド	<b>SD□RSQ□n</b>
説明	<p>このコマンドでは、スケルチが閉じている時の録音をどうするか設定します。引数nに「1」を設定すると、スケルチが開いている間だけ録音します。スケルチが閉じている時は録音を一時停止します。一方、引数nに「0」を設定すると、スケルチが閉じている間も録音を続けます。</p> <p>引数を省略した場合には、現在の設定値を表示します。</p>

## 12.6 SDカードへの録音開始／録音終了

対応コマンド	<b>SD□REC□ファイル名</b>
説明	<p>このコマンドにより、指定したファイル名のファイルへの録音を開始します。ファイル名は英大文字と数字で8文字まで設定できます。英小文字は英大文字に変換されます。拡張子は何を指定されても「.WAV」固定です。既に同名ファイルが存在していた場合には、確認せずに上書きされます。</p> <p>ファイル名として「/」1文字だけを指定すると、録音を終了します。また、ファイル容量が約2Gバイトを超えた時、またはSDカードの空き容量がなくなったときは、録音を終了します。</p>

## 12.7 SDカードからの再生開始／再生終了

対応コマンド	<b>SD□PLY□ファイル名</b>
説明	<p>このコマンドにより、指定したファイル名の録音ファイルを再生します。ファイル名は英大文字と数字で8文字まで設定できます。英小文字は英大文字に変換されます。拡張子は何を指定されても「.WAV」固定です。</p> <p>ファイル名として「/」1文字だけを指定すると、再生を終了します。</p>

## 12.8 録音／再生の状態問い合わせ

対応コマンド	<b>SD□PST</b>
説明	<p>このコマンドにより、録音中か再生中かが判断できます。</p> <p>返り値が「0」なら、現在は録音も再生もしていません。</p> <p>返り値が「1」なら、<b>SD□RSQ□0</b>の状態（スケルチの状態にかかわらず録音する）で録音中です。</p> <p>返り値が「2」なら、現在は再生中です。</p> <p>返り値が「3」なら、<b>SD□RSQ□1</b>の状態（スケルチが開いた時だけ録音）で録音中または録音一時停止中です。</p>

## 12.9 メモリ・セットの書き込み

対応コマンド	SD□MMW□ファイル名
説明	<p>このコマンドにより、メモリ・チャンネルやサーチ・バンクなど、<b>AR2300</b>が持つVFO／メモリ／サーチに関する記憶内容全体をSDカードに書き込むことができます。ファイル名は英大文字と数字と一部の記号で8文字まで設定できます。英小文字は英大文字に変換されます。拡張子は何を指定されても「.MMD」固定となります。</p> <p>既に同名ファイルが存在していた場合には、確認せずに上書きされますので注意してください。</p>

## 12.10 メモリ・セットの読み込み

対応コマンド	SD□MMR□ファイル名
説明	<p>このコマンドにより、メモリ・チャンネルやサーチ・バンクなど、<b>AR2300</b>が持つVFO／メモリ／サーチに関する記憶内容全体をSDカードから読み込むことができます。ファイル名は英大文字と数字と一部の記号で8文字まで設定できます。英小文字は英大文字に変換されます。拡張子は何を指定されても「.MMD」固定となります。</p>

## 12.11 SDカード使用上の注意（故障ではありません）

- ・標準サイズのSDカードまたはSDHCカードを使用することができます。ただし、ごく一部のカード（FATの構成がFAT12であるカード）は使用できません。
- ・SDカードが挿入された時に**AR2300**は自動的にSDカードのFATを読み込みますが、この読み込み処理に時間がかかる場合があります。SDカード挿入直後にSDカード関連のコマンドがエラーになった場合は、しばらく待ってから再度コマンドを発行してください。
- ・ファイルを削除した直後は、SDカードの空き容量が正しく表示されない場合があります。SDカードを一旦抜いて挿入しなおすと、正しい空き容量を表示することができます。
- ・入力されたファイル名は、先頭の8文字が有効となります。また小文字は大文字に変換されます。
- ・録音中に、録音ファイルのサイズが約2Gバイトになると、自動的に録音を停止します。また録音中に、SDカードの空き容量がなくなった場合は、自動的に録音を停止します。

## 4.2.4 ノーマル・サーチ環境（ノーマル・サーチ・グループ）

説明：オート・ストアがONの場合はノーマルサーチで検出した周波数をメモリバンク  
~~40番~~ 39番に保存していきます。